

エゾノリュウキンカとミズバショウ

毎年、この季節になると湿地に咲き始めるエゾノリュウキンカとミズバショウが仲睦まじく咲いています。黄色い花が特徴的で可愛い印象のエゾノリュウキンカ、凛とした佇まいが美しい印象のミズバショウ。撮影中、野鳥達が餌を求めて近くへ降り立つ場面もあり、湿地は賑わいを見せていました。旭岳の春、到来です。



【エゾノリュウキンカ】キンポウゲ科
低地から高山の湿った草原や水際に生える全体無毛の高さ50～80cmになる多年草。茎や葉の形がフキに似て湿地に生えることからヤチブキの別名もある。漢字では「蝦夷立金花」と表し、その名の通り黄金色の花が立ち上がって咲くことに由来する。

【ミズバショウ】サトイモ科
山地の湿地や水際に生える花茎の高さ10～30cmの大型の多年草。葉は花後に伸び、長さは1m程になることもある。「水辺に生える芭蕉のような大きな葉をつける」ことに由来する。

見晴台近辺や東川町内で見つけた花



【エゾエンゴサク】ケシ科
低地に生える高さ15～20cmになる多年草。地下に球形の塊茎がある。花の色は水色・青・紫・赤紫・白など変化が多い。



【エゾムラサキツツジ】ツツジ科
山地の明るい林内などに生える高さ1～3mになる落葉低木で東川町の町花である。花は小枝の先に数個かたまってつき、葉は表面に光沢がある。



5月に入ってもなお降雪がある旭岳温泉周辺ですが、気温が高くなる日もあり、急速に融雪が進むことがあります。湿地近辺は、木々の周りだけでなく思わぬ箇所へ陥没があり、踏み抜くと1m近く落ちることもありますので大きく迂回する等、撮影や散策の際には細心の注意が必要です。

ツアー・イベント情報

■自然観察会・エコツアー

旭岳ビジターセンターでは、定期的に自然観察会やツアーを開催しております。最新の観察会やツアー情報は、こちらをご覧ください。

